

方 法：ウェブ開催 オープンカンファレンス形式

テーマ：8050問題の事例を通じ、多職種連携の必要性を考える

～知ろう！気づこう！繋がろう！！～

目 的：8050問題の事例を通じ、多職種連携の必要性を理解し、医療と介護と福祉の連携と協働を強化する

目 標：・8050問題の実際を知る

・8050問題の事例から、多職種連携の必要性を理解する

・明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

### 【アンケート内の意見】

- ・8050 問題は、多くの介護・医療従事者にとっての大きな壁である為、今回の事例は大変勉強になった。
- ・8050 問題の研修に初めて参加させていただいた。このような困難ケースは増加傾向にある為、自分の事業所のみならず、他ケースの事例を聞ける事ができ、とても参考になった。多職種連携の大事さを再実感した。
- ・多職種が関わる事例だったので、自分の知らない障害の知識も得ることができてよかった。また、新しい包括の体制を確認できた。
- ・日常的に感じている問題だった。普段から支援者となりうる関係者と顔の見える関係性や地域をつなげていくということが大切だと感じた。
- ・ZOOM だったが、みんなそれぞれの意見をたくさん聞いた。会場だと数人の発言で終了していたのが、チャットを使うとたくさんの意見を聞いて非常に良かった。

### 【分析・考察】

目標にある「8050 問題の実際を知る」、「8050 問題の事例から、多職種連携の必要性を理解する」、「明日から自職種で何ができるかを考える事ができる」については、上記の意見等にもある通り、達成できたのではないかと考える。

開催方法は、集合開催が困難な状況となり、段階を踏まえて、最終的には関係者のみ会場に集合し、参加者は ZOOM となったが、チャットを用いて、さまざまな感想や意見、質問等を入力しながら参加していた。

アンケートの中には、集合開催のグループワークで意見を述べにくい場合もあるが、ZOOM での参加となると自分の意見を述べやすいという内容もあった。

今後希望する研修は、さまざまな事例を通じ、多職種でグループワークや意見交換ができ、多職種の連携や強化が図られる内容を求められていると考える。

図1 【参加者の職種】

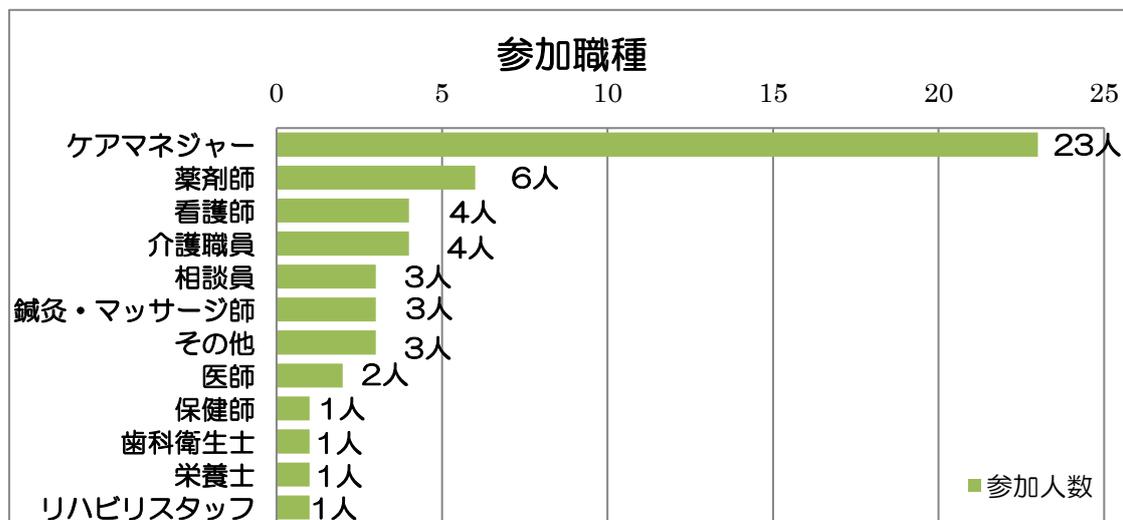


図2 【研修テーマへの意見】

よかった	52人	(100%)
どちらともいえない	0	(0%)
よくなかった	0	(0%)

図3 【希望する研修】

退院時の医療と介護の連携	3件
身寄りのない人が安心して医療・介護が受けられるための事例	3件
精神疾患がある利用者の事例	2件
ヤングケアラー	2件
虐待ケースの事例検討	1件
生活保護担当課のケースワーカーが行っている支援内容や課題	1件
多職種の連携事例に関する研修	1件
在宅支援, 施設支援に共通する内容	1件
オープンカンファレンス形式	1件
在宅での服薬管理, 残薬の対応	1件
地域課題の検討・個別案件への検討	1件
障害者総合支援法に関すること	1件
神経難病がある利用者へのリハビリ	1件